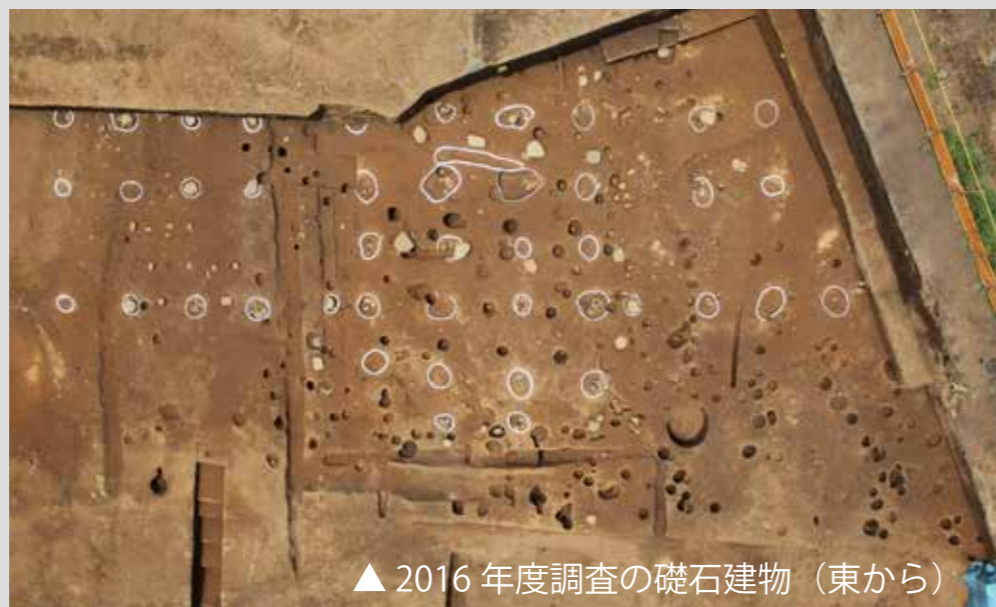




▲ 西側の丘陵と寺院の位置（東から）

寺院跡は、西側の丘陵裾に位置しています。2016（平成28）年には今回の調査区の南側で、3間×4間の大きな礎石建物を中心として、その南北に3間×2間の建物が1棟ずつ計3棟が並んで発見され、その西側にも2棟の掘立柱建物が発見されています。



▲ 2016年度調査の礎石建物（東から）



新東名高速道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査 子易・中川原遺跡 現場見学会

主催：公益財団法人かながわ考古学財団
共催：伊勢原市教育委員会



▲ 調査中の様子（東から）

伊勢原市子易地区に所在する子易・中川原遺跡は、新東名高速道路建設に伴い2012（平成24）年度から発掘調査を実施しています。

これまでの調査で、谷奥の斜面を削平した平場に中世の寺院が存在していたことが分かっています。この寺院跡は標高127m程に位置しており、東側の谷底には池状の遺構も発見されています。

この場所は、明治時代に廃寺となった『安楽寺』がありましたが、その下層から中世の礎石建物や石組墓が整然と配置された状態で確認されました。大山周辺の寺院として貴重な発見ですので、これらの最新の調査成果を紹介いたします。



▲ 中世礎石建物（東から）



地域の特徴ある
埋蔵文化財活用事業

新東名高速道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査 子易・中川原遺跡 見学会資料

2021（令和3）年4月25日

公益財団法人かながわ考古学財団
〒232-0033 神奈川県横浜市南区中村町3-191-1
☎ 045-252-8689（代） URL：https://www.kaf.or.jp

